

「3月27日山武市誕生の日記念プラン」発売

～地元貢献の一環として山武市在住・在勤者向け記念プランを販売～

ラフォーレ&松尾ゴルフ倶楽部（千葉県山武市、支配人：川居敬和）では、このたび3月27日（土）の「山武市誕生の日」を記念して地元山武市在住・在勤者向けの特別プランを販売いたします。これは地元密着型のゴルフ場づくりをモットーとしている当ゴルフ場において、第1弾「プレミアム付き山武市お買い物券への取扱事業者登録」、第2弾「山武市ECO活動支援基金協力（YMABUSHI Water販売協力）」に続く第3弾として、地元貢献事業の一環としてスタートするものです。当コースのクラブハウスが地元「松尾城」をモデルとしていることもあり、この記念プランをきっかけにより多くの地元在住・在勤者の皆様に、山武市松尾町の歴史を再認識いただく良い機会になればと願っています。

【山武市誕生の日記念プラン】

期間：2010年3月1日（月）～26日（金）までの平日限定

ご利用条件：山武市在住・在勤の方（要身分証明書）

料金：お一人様11,350円

内容：1R4B・乗用リモコンカート・キャディ・昼食（限定メニュー）

■山武市

山武市（市長：椎名千収、人口約56,500人）は千葉県東部の市。2006年3月27日に旧成東町・山武町・蓮沼村・松尾町の4町村が合併して誕生。

■クラブハウス概念

当コースのクラブハウスは、太田資美により明治2年に稜堡式の居城として築かれた「松尾城」がモデルとなっており、①自然環境に融和した格調のあるたたずまい ②ダイナミックな全体構成 ③伝統的手法を用いた“雅”な空間の創造 をコンセプトとしております。具体的には、外構計画としては「四稜郭」の形態を反映させ、周囲を「堀」で囲み、「石垣」によって台地状に積み上げており、また平面計画としては、シンメトリー構成を基本としながら、日本建築の伝統手法を用いて「変化」（くずし）を与えて、格調を高めています。

■松尾城の概要

明治元（1868）年に徳川家達（いえさと）が駿府（現静岡県）に移封となり、東海地方の諸藩は押し出されるように各地へ転封となりました。遠州掛川（現静岡県掛川市）の大名太田資美（すけよし：太田道灌の子孫）は、上総武射松尾藩5万石となり松尾にやってきます。そして、明治2年に稜堡式（りょうほしき：大砲の砲座を主眼とする近代の築城法、函館五稜郭が有名）の居城として築いたのが「松尾城」です。ちなみに「松尾城」は当初「四稜郭」の設計でしたが地形等制約もあり、最終的には「三稜郭」を呈します。



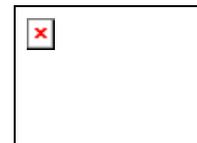
クラブハウス玄関



空撮



中庭の滝



名物ホールNo.2

■本件に関するお問合せ先

ラフォーレ&松尾ゴルフ倶楽部 高橋・森

〒289-1512 千葉県山武市松尾町八田 1563

TEL: 0479-86-6401(代表) 0479-86-6400(予約) FAX: 0479-86-6432